

お知らせ

横浜子育てサポートシステム入会説明会

「子どもを預けたい人」と「子どもを預かりたい人」が会員として登録し、会員相互の信頼関係のもとに、子育ての支援を行います。



※当日は、別室での保育(無料)も行っておりますので、ご希望の方は、同時にお申込みください。
※保育お申込みの方は当日10時15分にお越しください。

日 時：平成21年 3月19日(木)、4月17日(金)、
5月21日(木)、6月19日(金)、
7月17日(金)

各日 10:30~12:00

場 所：栄区福祉保健活動拠点内

申込先：栄区社会福祉協議会

申 込：前日までに電話でお申込みください。

平成21年度 さがえふれあい助成金説明会

さがえ ふれあい助成金は、区民同士の支えあいによるボランティア活動など、地域福祉保健に貢献する事業の支援を目的とします。

募集にあたり、説明会を次のとおり開催します。

日 時：① 平成21年3月24日(火) 午後2時~
② 平成21年3月25日(水) 午前10時~
(①、②とも、同一内容です)

会 場：栄区福祉保健活動拠点 団体交流室

申込先：栄区社会福祉協議会

申 込：団体名・参加者氏名・電話番号・希望日を明記の上、ハガキ、FAX、電話で、3月19日(木)までにお申込みください。

※会場の都合上、各団体1名の参加をお願いします。
※助成金の申込みは、平成21年4月1日(水)から4月30日(木)です。
申込みされる場合は、なるべく説明会にご参加ください。

ふれあいであいなさい 第10回 ようこそであい広場

新しい発見 楽しい交流やイベントが待ってるよ!

栄区福祉保健活動拠点を利用しているグループによるおまつりです。

栄区内のボランティアグループ・当事者グループ・障がい者施設等の活動PRや地域との交流を図るため開催いたします。

日 時：平成21年3月7日(土)
午前10時~午後2時

会 場：栄区福祉保健活動拠点(栄区役所前)

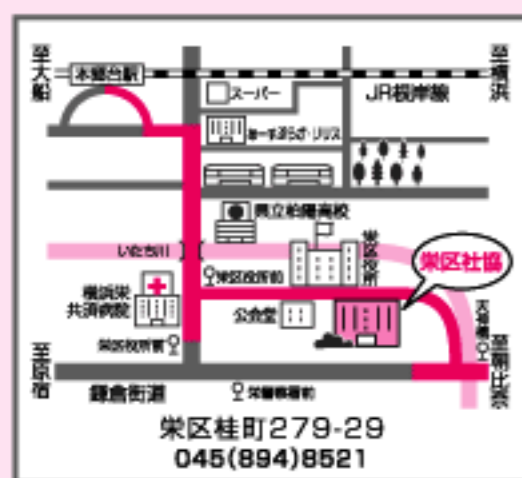
内 容：バザー(リサイクル品・手作り品)
食べ物いろいろ模擬店
体験コーナー(パソコン・健康チェック)
子どもの遊びコーナー(景品もあるよ!)

主 催：ようこそであい広場 実行委員会

栄区社会福祉協議会では、「さがえ区社協だより」へ掲載する広告を募集しております。(栄区内全戸配布) 詳細はお電話にてお問合せください。

045(894)8521

本誌は、区民の皆様から寄せられた共同基金の一部を用いて発行し、自治会・町内会のご協力で全世帯にお配りしています。



【編集後記】

町内会主催の防災訓練に参加していつも感じることは、参加している願ぶれが毎回ほとんど同じ人達であり、最近引越して来た人やアパートの若者は全く出て来ないということだ。町内会は「個人情報」に邪魔され、高齢者の名簿作りには消極的である。隣近所のつき合いが益々希薄になっていく中、「災害時ひとりも見逃さない」為にも、必要と思われる最小限の名簿作成に、個人情報の壁を破る知恵を出すべきだと思うのは、はたして私だけののだろうか? (鈴木)

【栄区社会福祉協議会広報編集委員】

壺田(小林 信治) 笠岡(鈴木 繁) パソポラ横浜(松田 成人)
小菅ヶ谷(田中 文夫) 本郷中央(長田 智子) グループ桂台(田野 浩)
上郷東(杉田 泰一) 本郷第三(出川真由美) NPO法人ちゅーりっぷ
上郷西(梶見 ふく) (青木恵美子)

さがえ区社協だより

No.29

発行：社会福祉法人 横浜市栄区社会福祉協議会

〒247-0005 横浜市栄区桂町279-29 (栄区福祉保健活動拠点内)

電話 045 (894) 8521 Fax 045 (892) 8974

E-MAIL : office@sakaeku-shakyo.jp URL : http://www.sakaeku-shakyo.jp

平成21年2月1日発行

承認：栄区連第103号

ご存知ですか? 地域で支えあうための仕組みづくり

先ごろ、横浜市が発表した将来の人口推計によると、10年後の栄区は、現在よりも65歳以上の方が1万人近く増え、人口に占める割合が現在の20%程度から10ポイント増えて30%となると予想されています。

栄区を取り巻く状況が、少子・高齢化を例にとっても、このように今後も大きく変容していくことが予想される中、地域における生活課題*1も様々です。

これらの課題の解決に向けては、地域のみ、行政のみで解決できるものではなく、地域の特性や資源を活かし、関係団体や行政と協働しながら、地域に住む方々が主体となって、取り組みを進めていくことが求められています。

●生活課題の一例

- | | | |
|-----------------|---|-----------------------------|
| 急速な高齢化が進みつつある地域 | ➡ | 高齢者の見守り・外出機会の確保 |
| 子育て世代が増えている地域 | ➡ | 子どもの安全確保、育児不安の解消 |
| 団塊の世代が戻ってくる地域 | ➡ | 地域活動への参加促進について |
| その他 | ➡ | 災害時要援護者の把握・支援方法、自身の健康づくり など |



栄区内では、課題解決のための具体的な取組として「地域のネットワーク」*2がそれぞれの地域で立ち上げられました。ネットワークでは、参加者同士が顔の見える関係を構築するとともに、地域全体でお互いが支えあっていく仕組みづくりの基盤ができています。(2・3ページでは、そのなかから3地区のとりくみを紹介します。)

また、栄区全体では、「栄区地域福祉計画」「栄区地域福祉活動計画(さがえールプラン)」にもとづき、様々な生活課題の解決に向けた取り組みを進めています。次期計画の策定や、地域で広がる福祉保健活動に皆さんが参加して下さることを期待しています。

●「地域のネットワーク」

「地域支えあい連絡会」
名 称 「地域支えあいネットワーク」
「地域見守りネットワーク」

参加者
ボランティア団体・NPO法人などの福祉保健活動団体、地区社会福祉協議会、自治会・町内会など課題に応じて様々な個人・団体が参加(区内の地域ケアプラザが事務局を担っています)



社会福祉協議会 ・ 社会福祉および社協の「社」を図案化し、「手を取りあって、
ロゴマーク ・ 明るいしあわせな社会を建設する姿」を表現しています。

上郷西地区支えあいネットワークのとりくみ

今、区内各地域で「市区地域福祉計画」に係わる様々な活動が行われています。区の基本理念「あなだもわたしもみんなが主役のまちづくり」に基づくもので、右図のように「地域で見守り支えあうまちづくり」、「多彩に交流しあうまちづくり」、「安心と心が通いあうまちづくり」の3つの目標で構成された活動です。

私たちが住む、上郷西地区においても平成17年からこの計画に加わり活動を行っています。従来、福祉＝民生委員とされる面もありましたが、高齢化が進む今後の社会にあっては福祉＝地域で支えあう＝地域住民という姿になるであろうことが想定されることから、活動をより身近なものとするため、上郷西地区の共通スローガンを「あいさつ・声かけ・気づかい」とし次のステップを進めることにしました。

それぞれのハンドブックは上郷西地区内の福祉について身近な活動と関連づけながら、また町内会・自治会、シニアクラブ、PTA、他関係する団体の協力を得ながら作成しているものですが、今後地域のマニュアルの一つとして活用できればと思っています。詳しくは桂台地域ケアプラザに問い合わせください。

上郷西地区支えあいネットワーク 地域福祉関係者分科会

地域で見守り支えあうまちづくり

地域で見守り支えあうまちづくり

取り組み期間 平成18年度～平成19年度 **ハンドブック 第1冊**

内容

- ① 高齢者向け福祉資源の発掘。町内会・自治会単位で古くから活動を続けているシニアクラブの活動内容の調査。
- ② 地域の人たちが気軽に集まれる場所「サロン」の設立。平成14年上之町に第1号（「出会いサロン」）が開設、以降年に1～2ヶ所設立。各サロン（現在10ヶ所）の活動内容の調査。ハンドブック（高齢者版）を作成。



多彩に交流しあうまちづくり

多彩に交流しあうまちづくり

取り組み期間 平成20年度 **ハンドブック 第2冊**

内容

「次世代育成・支援」を視野に入れた地域で出来る青少年の健全育成。上郷小学校・上郷中学校の生徒たちが地域で活動しているクラブやサークル内容の調査をPTAの協力を得ながら実施。ハンドブック（小・中学生版）を作成。

安心と心が通いあうまちづくり

安心と心が通いあうまちづくり

取り組み期間 平成21年度



上郷東地区地域見守りネットワークのとりくみ

上郷東地区では、民生委員、友愛活動推進員、保健活動推進員の三者を中心に活動をしてきた「高齢者等定期訪問事業」が廃止された事を受け、「地域見守りネットワーク」が動き出しました。

平成19年11月開催の第1回地域見守りネットワーク会議には、67名が参加し、お互いの現状報告や、グループ討論・発表を通じて、見守りネットワークの必要性を確認しました。また、この討論の中で行政とのつながりの重要性が浮き彫りになったため、「地域での活動内容のあり方」について区長をはじめ区役所各部署と意見交換を行いました。この意見交換を通して、見守り活動は家族や近隣住民の支え合いや、「気にかける」「思いやる」といった近隣のぬれあい型の活動が大切であり、見守りネットワークは従来の「高齢者等定期訪問事業」を基礎に、支えあい連絡会の機能を強化したネットワークを作り、新たなニーズを掘り起こし、ニーズに基づくインフォーマル活動の創設と担い手を増やす必要性を共有することができました。

第2回地域見守りネットワーク会議では、自治会・町内会長も加わっていただき開催しました。見守りネットワークは日常生活圏に於いて、顔の見える取り組みが出来る環境を作り出す必要性があるため、自治会・町内会の協力が欠かせません。地域の実情をよく踏まえて、どこまでやるかその必要性についてディスカッションし、見守りネットワークを発足させる事を確認しました。また、第3回目の会議では、見守りネットワークの推進に向け、平常時の声かけ見守りを行う地域組織作りについて話し合いました。

すでに一部の自治会・町内会では、自治会の福祉厚生部の中で見守りネットワークを取り入れ活動を開始したり、上郷東地区で初の多世代交流サロンが立ちあがりつつあります。今後は一層見守りネットワークの内容を充実させ、インフォーマルサービスを地域福祉システムに取り組み、日常の見守り活動を発展させていきます。

上郷東地区社会福祉協議会



地域見守りネットワーク会議の様子

本郷中央地区支えあい連絡会のとりくみ

本郷中央地区では、町内会自治会を始め行政などの関係機関が協力し合って生活課題を共有し解決を図っていきこうと、ここ3年間にわたり、連合町内会自治会や区民協・桂台地域ケアプラザ・区役所福祉保健課・区社協・地区社協等の協働体制によって「わが町の福祉増進」の推進に向け3つの事業を継続して実施中です。

《町内会自治会のヒアリング》

ヒアリングは、各町内会自治会にお邪魔して聞き取り話し合いを行っています。受け入れ側では、町内会役員その他、民生委員等の各種委員の同席のもとに、福祉組織・防犯や防災対策・子ども青少年や高齢者対策・委員委員連携等、状況を伺い、地域の福祉課題の共有を図っています。特に今年度は、区が推進する「災害時における要援護者避難支援システム」の構築に関連する問題に焦点が当てられています。

《わが町の福祉増進のためのフォーラム》

ヒアリングの集約と要援護者避難支援システムについてのフォーラムを平成21年3月14日（土）に開催する準備を進めています。このフォーラムを通じ、単に本郷中央という限られた地域の福祉の推進にとどまることなく、他地域への波及も期待をしているところです。

《協働福祉講座》

本郷中央地区13町内会自治会の共通する生活課題は「防災」と「防犯」です。

防災講座では、いざ大地震の際にどう対処するか、自助・共助・公助の関連を話し合ってきました。特に今年度、横浜栄・防災ボランティアネットワークの協力で行った「クロスロードゲーム」をもとにした防災意識向上の催しは好評で、各地に広がっています。

防犯講座では、今年度振り込め詐欺をテーマとし、自分は大丈夫だという過信を拭い、未然に被害を防ぐことができるよう企画しました。



本郷中央地区での支えあい連絡会の特色は「協働システム」による福祉増進を継続し、他への波及を図ることにあります。

本郷中央地区支えあい連絡会 地域福祉関係者分科会

「ありがとう」の気持ちを伝える地域の共通通貨

このカードは、あなたが「こんなことを手伝って欲しい」という時に、早く手伝ってくれる人に「ありがとう」の気持ちをお金ではなくこのカードで伝えるものです。



「ありがとう」の気持ちを伝える地域の共通通貨

市区をたすけあいや、ささえあいがあふれるまちにしたい。そんな思いでこの地域通貨「イタッチ」が、みんなをつなぐきっかけとなるかどうか、今年3月まで実験中です。地域通貨というのは、商店街を色めかす地域の活性化を図り、地域の人々のやさしさを地域の人に届ける「たすけあいの地産地消」のための道具です。「イタッチ参加店」の表示があるお店で100円分として使うこともできます。

どうぞ、このカードをあなたもご利用ください。

地域通貨プロジェクト「イタッチ」 <http://www.i-touch.info/>

